

SHIFT事業セミナー

1. 支援機関としての(株)スマート・リソースの特徴
2. 今年度の支援事例

株式会社スマート・リソース
取締役副社長 伊藤正行

1. 支援機関としての(株)スマート・リソースの特徴

①投資回収の視点を重視

- ・導入するための合意形成が図りやすいことが重要。

②熱源分野に特化

- ・機器の入替だけではなく、付属設備や既存設備への影響も考慮。
- ・サービス業(ホテル、旅館、温浴施設、介護施設、病院等)の熱源更新実績を踏まえた実務的視点からの支援。

③ESCO事業によるリアルな知見

- ・データ計測により、実際の運用レベルでの効率を常時検証し、新たな熱源更新の計画にフィードバック。

2. 今年度の支援事例

事例①: ホテル

- ・蒸気ボイラーの消費しきれない蒸気のロス。
- ・系統ごとのエネルギー使用量と、それにかかるコストとのバランスによって、最適な機器を提案。
- ・食器洗浄機も省エネ型に更新。

事例②: 旅館

- ・重油タンクの重油漏れリスクを懸念。
- ・ヒートポンプ給湯器の導入と既設ボイラーのガス化によって、重油使用を全廃し、重油タンクは廃止。SHIFT事業により、CO2排出量削減、コスト削減、重油漏れによる環境汚染発生リスクの解消を同時に行う。

事例③: 旅館

- ・グループ施設で熱源のヒートポンプ化実績あり、そのメリットを実感済。
- ・コストパフォーマンスの観点から、ヒートポンプと重油ボイラーの併用とすることを提案。
- ・2つの重油の地下タンクのうち、1つを廃止。
- ・更新時期を迎えていた電気のトランスも併せて更新。

以上